

様式第1号

会 議 録

会議の名称	第4回 所沢市環境審議会
開催日時	令和2年11月17日(火) 15:30~16:40
開催場所	所沢市役所 低層棟3階 全員協議会室
出席者の氏名	天野 正博、甲野 毅、秋元 智子、毛利 吉成、内田 勉、川原 博満、田中 淑子、上田 マリノ、坂根 裕子、縣 美智子
欠席者の氏名	岩崎 新太郎
議題	1 開 会 2 議 事 (1) 「所沢市マチごとエコタウン推進計画(第3期所沢市環境基本計画)」に基づく環境施策の効果的な推進方策に係る答申書について 3 答 申 4 閉 会
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 資料1 第3回環境審議会後の修正点 ・ 答申(鑑) ・ 答申(別紙) 「所沢市マチごとエコタウン推進計画(第3期所沢市環境基本計画)」に基づく環境施策の効果的な推進方策について(答申) ・ 【参考】リーフレット「所沢市は2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します」 ・ 【参考】所沢市水とみどりが作るネットワーク計画 概要版 ・ 【参考】所沢おさんぽナビ ・ 【参考】所沢市観光ガイドブック
担当部課名	<p>環境クリーン部 部 長 廣川 澄芳 環境クリーン部 次 長 一井 里映 環境クリーン部 次 長 大館 真哉 環境クリーン部 みどり自然担当参事 奥村 稔 環境政策課 課 長 安藤 善雄 主 幹 吉田 美由紀 主 査 並木 美佐子 主 査 三浦 直子 主 任 金森 敏也 環境対策課 課 長 矢野 正和 資源循環推進課 課 長 池田 淳</p> <p>環境クリーン部環境政策課 電話 04-2998-9133</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>会長</p> <p>環境政策課 主幹</p>	<p style="text-align: center;">＜開会＞</p> <p>今日はお忙しい所、コロナの中お集まりいただきありがとうございます。本日は市長への答申受け渡しがある。最後までよろしくお願い致します。</p> <p>あいさつ</p> <p>出席者が全委員の過半数に達しているため、審議会規定により会議が成立します。傍聴者はありません。</p> <p>＜配布資料の確認＞</p> <p>【議題1「所沢市マチごとエコタウン推進計画（第3期所沢市環境基本計画）」に基づく環境施策の効果的な推進方策に係る答申書について】</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、議題の1番目「所沢市マチごとエコタウン推進計画（第3期所沢市環境基本計画）」に基づく環境施策の効果的な推進方策に係る答申書について」に関して事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>＜前回からの変更点及び答申書概要について説明＞</p>
<p>会長</p>	<p>事務局の説明について、コメント、質問などありますか。</p>
<p>会長</p>	<p>審議会の進め方は、通常、事務局がある程度素案を作って、それに対して委員の意見を頂き、修正をかけていくものだが、今回は委員の皆様自身が意見を出し、それを事務局がまとめるという、逆の流れでした。委員の方も大変だったとは思いますが、そういうことも含めてご意見はどうですか。</p>
<p>会長</p>	<p>私の率直な感想だが、他の所でもこういった手法でやることがあるが、成功するところと失敗するところがあります。ここでは非常に皆さんが熱心で、たくさん意見をお出し頂いて事務局としてもまとめやすかったのではないのでしょうか。今回の答申のかなりの部分は皆さん自身の発想で、それを事務局がまとめて答申の形にするという、お互いの協力がうまくいったということです。</p> <p>元となる計画の将来像とは、「人と人との絆」、「人と自然との絆」を紡ぐということであり、今回は、市民や事業者が自分達で環境保全に目を向け、それに対してやりたいこと、行政にお願いしたいことを足したという一つのモデルを体験したと言えます。</p>

	<p>市の温室効果ガス削減の 2050 年の削減目標は 80%削減でしたが、今後は「ゼロ」を目指すので、これは市民・事業者の主体性がないと進めることができない、といったことを頭に入れて、審議会の内容を振り返っていただきたい。</p>
会長	<p>ご意見等なければ本書で確定とし、この後市長への答申があるので、その流れについて事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p><答申受け渡しの流れについて説明></p>
会長	<p>16 時まで休憩とします。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">(市長入室) 【答申】</p>
環境政策課 主幹	<p>それではこれより答申のご提出をお願いします。</p>
会長	<p>今回、人と人との絆、人と自然との絆を大切にしながら子ども達の未来を紡ぐため、将来の環境施策の効果的な方策について審議を行ったものです。</p> <p>実施方法は、従来であると、事務局から素案がありそれに対して意見を述べていくものですが、今回はワークショップの形をとって委員の皆さんに意見を言ってもらって、内容を答申としてまとめたものです。</p> <p><会長が答申書を読み上げ、市長に手渡し></p>
環境政策課 主幹	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、市長よりご挨拶申し上げます。</p> <p><市長あいさつ></p> <p><各委員からの感想、市長退室、事務局からの参考資料の説明、部長からのあいさつ></p> <p style="text-align: center;">【閉会】</p>